

IBM Proventia Network Multi-Function Security (MFS)

	MX0804	MX1004	MX3006	MX4006	MX5008	MX5110
<b>ネットワーク・インターフェース</b>						
10/100/1000 インターフェース数 *1	4	4	6 (10/100)	6	8	10
<b>パフォーマンス</b>						
最大推奨ノード数 (全ての機能を有効にした場合)	50	100	500	1,000	2,000	3,000
ファイアウォール スループット	100Mbps	100Mbps	200Mbps	600Mbps	1,600Mbps	1,800Mbps
インスペクション時のスループット(ファイアウォール+IPS+Webフィルタ)	100Mbps	100Mbps	200Mbps	450Mbps	730Mbps	800Mbps
インスペクション時のスループット(ファイアウォール+IPS+Webフィルタ+アンチウイルス(e-mailのみ))	25Mbps	43Mbps	200Mbps	360Mbps	496Mbps	566Mbps
インスペクション時のスループット(ファイアウォール+IPS+Webフィルタ+アンチウイルス(mail+FTP+Web))	15Mbps	34Mbps	94Mbps	120Mbps	135Mbps	150Mbps
秒間あたりの最大コネクション数	2,000	3,000	4,100	6,800	9,580	12,500
コネクション最大保持数	50,000	50,000	120,000	120,000	150,000	150,000
<b>VPN パフォーマンス</b>						
VPNスループット(3DES利用時)	15Mbps	25Mbps	65Mbps	68Mbps	74Mbps	80Mbps
VPNスループット(AES利用時)	30Mbps	50Mbps	143Mbps	170Mbps	230Mbps	247Mbps
最大推奨VPNトンネル数 (Client to Site/Site to Site)	100	100	250	250	250	250
<b>電子メール パフォーマンス (アンチウイルスとアンチスパム)</b>						
1KBメッセージ最大処理数(1時間)	600	1,320	4,480	7,230	10,210	11,640
1KBメッセージ+500KB添付最大処理数(1時間)	120	264	766	840	970	1,180
<b>ファイアウォール/ネットワーク</b>						
アクセス・コントロール	ステートフル・ファイアウォール、トラフィック・ベース・アクセス・コントロール (IPアドレス、ポート、プロトコル)					
NAT	Many to One、One to One、Many to Many (Port/IPアドレス)、Destination NAT					
DHCP	DHCPクライアント、DHCPサーバー					
PPPoEクライアント	○					
Layer2 トランス・ベアレント・モード	○					
その他プロトコル	RIP v1、v2、OSPF、QoS (優先制御、帯域制御、帯域保証)					
<b>VPN (Client to Site/Site to Site)</b>						
暗号プロトコル	IPSec with IKE、L2TP、PPTP (パススルー)					
暗号化アルゴリズム	DES、3DES、AES					
パケット認証アルゴリズム	MD5、SHA-1					
Perfect Forward Secrecy (Diffie-Hellman)	Groups 1、2、5					
IPSec NAT Traversal	○					
サポートするVPNクライアント	Safenet SoftRemoteLT、Windows 2000およびWindows XP IPSec クライアント					
主要なVPNアプライнсとの相互接続性	Cisco、NetScreen、Symantec、Check Point社製品とのVPN接続など					
認定	NSS、ICSA Firewall-Corporate					
<b>SSL VPN</b>						
アクセス方法	Web、Web and TCP、Full Install					
認証メカニズム	Active Directory、LDAP、RADIUS、X509					
クライアント・セキュリティ・チェック	○					
ユーザー/グループ・アクセス・コントロール	○					
VPNトンネル保護	IPS、アンチウイルス、スパム、URLフィルタリング					
最大同時接続ユーザー	10	50	75	100	125	
<b>VPN (ユーザー認証)</b>						
認証アーキテクチャー	内部データベース、RADIUS (外部) データベース、Xauth による RADIUS 認証 (IPSec VPN時)、IP/MAC アドレス・バインド、LDAPサポート (RADIUS)、RSA (外部) データベース (RADIUS)					
<b>IPS (不正侵入防衛)</b>						
インスペクション可能なプロトコル	200 種類以上					
シグネチャー数	検知可能なシグネチャー2,500 以上、デフォルトでブロック可能なシグネチャー2,000以上					
攻撃トラフィックのドロップ手法	パケット単位でのドロップ、コネクション・リセット、コネクション・ドロップ					
ダイナミック・ブロック・ファイアウォール・ルールの自動変更	ワーム拡散トラフィックの遮断、トロイの木馬通信の遮断、攻撃元IPの遮断など					
<b>アンチウイルス</b>						
対応プロトコル	SMTP、POP3、HTTP、FTP					
Wildlist 100% サポート	○					
Inbound/Outbound ウィルス検知・駆除	○					
e-mail添付ファイルのインスペクション	○					
インスペクション可能な圧縮形式	Zip、MIME/UU、LHA/LZH、TAR、GZIP、ARJ、CAB、RkLite、LZEXEなど					
<b>アンチスパム</b>						
スパム判定	メール本文のテキスト解析、URL解析、添付イメージ解析、スパム・データベース (20万件以上)、スパム学習手法					
スパム・インスペクション方法	件名への [SPAM] タグの追加、スパム・メールのドロップ					
サポートするプロトコル	SMTP および POP3					
<b>Webフィルタ</b>						
フィルタリング用データベース登録数とカテゴリ数	Webページを含むURL 情報 90億件 (2009年10月時点)、62 カテゴリー					
<b>ソフトウェアのアップデート</b>						
X-Press Update	IPSecシグネチャー、アンチウイルス・シグネチャー、Webフィルタ・データベース、アンチスパム・データベース *2					
Firmware Update	○ *3					
アップデート	手動アップデート、自動アップデート (スケジュール、指定時間間隔による更新)					
<b>通知・ログ機能</b>						
イベント・ログ	○					
イベント通知	e-mail通知 *4、SNMP通知、統合管理システムへの通知					
<b>管理</b>						
集中管理	○ (SiteProtector使用)					
Webベースのローカル・マネージメント	Proventia Manager					
サポート言語	英語、日本語					
Secure Shell Access	SSH					
SNMP管理	○					
管理用シリアル・ポート (UPS未サポート)	1個口					
ハイ・アベイラビリティ	○ (HA ホット・スタンバイ) *5					

一般仕様						
筐体デザイン	テーブル・トップ		1U <ラック・マウント>		2U <ラック・マウント>	
本体寸法 (mm)	250 (W) × 39 (H) × 177 (D)	250 (W) × 39 (H) × 177 (D)	429 (W) × 44 (H) × 360 (D)	429 (W) × 44 (H) × 360 (D)	430 (W) × 88 (H) × 490 (D)	430 (W) × 88 (H) × 490 (D)
重量 (Kg)	1.2	1.2	5.5	6.5	18	18
記憶装置冗長化	-				○ (RAID1構成)	
電源冗長化	-				○	
環境温度	動作時: +0°C ~ +40°C 非動作時: -20°C ~ +75°C					
相対湿度	動作時: 5 ~ 85% (40°C) ・ 非動作時: 5 ~ 95% 結露しないこと					
電圧 / 周波数 *6	90-264V 47-63Hz		100-127V, 200-240V 50-60Hz		90-260V 47-63Hz	
最大消費電力	40W		200W		500W	
オペレーティング・システム	Proventia OS					
MTBF	30,000時間	30,000時間	56,000時間	50,000時間	48,000時間	48,000時間
EMI / 安全基準 / 認証	・ 米国: FCC CFR47 Part 15 Class A ・ 欧州: CISPR 22 Class A; "CE" Mark of Conformity ・ 日本: VCCI-A *6 ・ 韓国: Korean Requirement Class A ・ オーストラリア / ニュージーランド: ACA C-Tick ・ UL 60950-1 1st Edition Underwriters Laboratory ・ IEC 60950-1 1st Edition					
付属品	保証内容、クイック・スタート・ガイド、AC電源一式、リカバリーCD-ROM一式、シリアル・ケーブル、Ethernet クロス・ケーブル		設置用金具一式、保証内容、クイック・スタート・ガイド、電源コード*7、リカバリーCD-ROM一式、シリアル・ケーブル、Ethernet クロス・ケーブル		ラック・マウント用金具一式*8、クイック・スタート・カードまたはガイド、電源コード*7、リカバリーCD-ROM一式、シリアル・ケーブル	
サポート & サービス						
サポート & サービス内容	テクニカル・サポート、X-Press Updateの更新、Firmwareの更新、ハードウェア交換					
テクニカルサポート内容	平日10:00~17:00 (土日祝日、弊社休業日を除く) メール・サポート / 電話サポート (サポート・インシデント数の上限なし)、サポート・ナレッジ・ベースの閲覧					
(*1) インターフェースのリンク・スピードより最大スループットを超えない範囲でご利用ください。 (*2) アンチスパム・WEBフィルタリング用のコンテンツ・データベースは1GB以上のサイズで、通常はCDイメージのコピーを実施します。インターネット経由で全データのダウンロードを行う場合、パフォーマンスが低下します。 (*3) 基本ファーム・ウェアをアップデートする間、通信が停止し、その後再起動が必要です。このため約一ヶ月に一度、連続する3時間程度の保守作業時間を見込む必要があります。MFSのソフトウェアの不具合修正は最新のファーム・ウェアに対してのみ提供されます。 (*4) イベント通知メールの記載時刻はGMT標準となります。 (*5) 冗長化機能(ホットス・タンバイ)において、通信障害検出後、プライマリーのMFSからセカンダリーのMFSへの切り替えには2分程度の時間を要します。セッション情報の同期は行われておりません。 (*6) MX0804およびMX1004は、VCCI-Bとなります。 (*7) 電源コードは100Vのみに対応。コンセント形状: NEMA5-15P。200Vの電源をご使用の場合、お客様にてご用意いただく必要がございます。 (*8) ラック・マウント用の付属金具一式はEIA-310D 規格用のものです。別規格のラックに設置の際はネジのサイズ等、ラックに適合する金具をお客様にてご用意いただく必要があります。						

※この文書に含まれるすべてのパフォーマンス・データは、ある特定条件の動作環境下でのデータを標準的な値として提示しています。他の動作環境におけるパフォーマンスは異なる場合がありますので、ご使用予定の環境で事前に検証することをお勧めしております。